

- 意見募集期間：令和6年2月26日(月)～令和6年3月27日(水)
- 募集テーマ：「知的財産推進計画2024」の策定に向けた意見募集  
(「知的財産推進計画2023」について見直すべき点や、「知的財産推進計画2024」に新たに盛り込むべき政策事項等について)
- 意見提出数：3,106件(うち、団体数：37法人・団体)
  - ※ 団体・個人の種別不明なものは個人扱いとする。
  - ※ 同一人物・団体が複数提出した意見は、それぞれ1件とカウント

**寄せられた主な意見** (注) 提出された意見のうち、約9割が「AI」に関するもの。

## 生成AI

生成AIと著作権の問題については、AI技術の発展、これに伴うAI開発事業者、AI利用者、創作者、著作権者等の関係者の利益状況及び各国の対応状況等に注意を払い、必要な場合には速やかに立法的措置を講じることができるよう検討を継続すべきである。

AIにかかる政府の検討が一定程度まとまったものについては、結果を国民に分かりやすく周知し、利用者側の過度な萎縮を防ぐとともに、権利者側の懸念の払拭に向けた取組を進めていただきたい。

## その他

オープンイノベーションを支えるために、どのような人材に何を担ってもらうことが知財エコシステムに繋がるのか、検討を進めていただきたい。大学知財エコシステムに関わる人材(育成)投資や、大学研究開発投資についても柔軟な検討を希望する。

戦略的に国際標準化を推進する領域において、国際標準戦略を推進する体制の整備を是非進めていただきたい。司令塔機能としてのガバニングボードを早期に新設いただきたい。